

令和8年度むらとつながる農村体験事業（関係人口）企画提案募集に関する質問及び回答について

	質問内容	回答
1	ツアーのプロモーションによる参加者を募集するにあたり、広告配信事業者へ受託者から委託することは、主たる部分以外の業務として認められますでしょうか。	一部、再委託については当課と協議の上、可能です。質問にある業務内容であれば、主たる部分以外の業務として、再委託も可能です。
2	受託者のWebサイトにて、記事制作を行いプロモーションを行う想定ですが、Webサイト上の制作記事およびコンテンツは弊社の著作物になりますが、問題ないでしょうか。	著作権については、問題ありませんが、本事業は、都市住民に地域とのつながりを持っていただくことを目的としていますので、実施地域がWEBサイトの記事やコンテンツを活用できるよう配慮をお願いします。また、情報発信として、県観光サイト「かごしまの旅」への掲載や鹿児島県HPへ掲載（リンク先記載）等を依頼する予定です。
3	ツアー実施にあたり、採択後、より具体的な協議をしたうえでツアーのブラッシュアップをすることは可能でしょうか？	可能です。
4	ツアー主催者は、自治体様（貴庁）による単独開催を想定しておりますでしょうか。または自治体様（貴庁）と旅行事業者との共催を想定しておりますでしょうか。	これまで「主催：鹿児島県 実施・企画（事務局）：受託者」のような形式で実施しており、令和8年度もそのような想定しております。
5	ツアー実施のための体験提供者をご紹介いただくことは可能でしょうか。	これまで実施したモニターツアーでは、地域とつながりのある中間組織と受託者が連携して、地域資源を活かしたプログラムの企画・造成を行っており、体験提供者の選定、調整等も行っております。令和8年度もその想定しております。
6	ツアー参加者のツアー参加費用は無料とする形を想定されておりますでしょうか。もしくは、ツアー参加費用をお支払いいただく形でのよいのか教えてください。	参加費用をお支払いいただく想定でいます。これまでのモニターツアーについても、一部助成を行い、参加費をお支払いいただいております。
7	仕様書では対象地域は「県内の農山漁村地域（大隅半島を想定）【1地域】」とありますが、大隅半島に限定でしょうか。限定の場合、優先したい市町・地域特性（棚田、林業、漁村等）があればご教示ください。	県事業の性格上、地域に偏りが生じないよう配慮しており、令和8年度の関係人口事業については、大隅半島を想定しています。特に、優先したい市町はありません。
8	「1地域」の範囲は、単一集落／旧町単位／市町単位など、想定粒度はありますか。	市町村単位を想定しています。
9	「中間支援組織を主体」とありますが、県として想定する中間支援組織の要件（法人格、役割、地域内外、実績等）をご教示ください。	地域と繋がりがあがるNPO法人や観光協会などを想定しています。
10	中間支援組織は、受託者が候補を提案し、契約後に県と協議して確定する理解でよいでしょうか。**選定のプロセス・必須の合意事項（覚書等）**があればご教示ください。	ご認識のとおりです。
11	農村体験プログラムは【2プログラム以上】とありますが、プログラムの独立性（同一地域内の類似体験でも別扱い可否）や、最低限求める要素（交流の設計、継続関与の仕掛け等）があればご教示ください。	同一地域内の類似体験でも別扱可能です。事業終了後も受入先が継続して受入の意向があることが望ましいです。
12	本事業で想定する関係人口は「援農体験、地域行事参加・運営協力、草刈り体験等を通じた継続的交流」とありますが、県として「関係人口化」と判断する目安（再訪、継続参加、コミュニティ加入等）があればご教示ください。	御記載のとおり、事業後にも実施地域に再訪し、行事や農業へ継続参加するなど農村地域との密な交流を関係人口化と想定しています。
13	仕様書にモニターツアーは「2回以上（日帰りも可）」「参加者10名程度」とありますが、「1回あたり10名」でしょうか、「2回以上実施の合計で10名」でしょうか。また、上振れ・下振れ許容範囲があればご教示ください。	1回あたり10名程度を想定しています。増減はあるかと思いますが、許容範囲は設定しておりません。
14	「必要に応じて旅行会社等と連携し一般客を対象にしたモニターツアー実施」とありますが、旅行手配の主体は旅行会社を前提とする等、県として想定する運用（旅行業法上の留意点）があればご教示ください。	ツアー代金を徴収する形となると思いますので、旅行業法に基づき実施してください。
15	「ツアー代金は一部委託費から補助してもよい」とありますが、補助の上限目安（1人あたり／1ツアーあたり）、対象経費の考え方（宿泊費、体験料、交通費等）があればご教示ください。	県で想定する目安はありません。

16	告知用チラシ（データ可）作成とありますが、県の指定サイズ・必須記載事項・ロゴ等がありますか。また配布先（県HP/SNS等）の想定があればご教示ください。	A4サイズを想定しています。 県のHPへの掲載、広報媒体への掲載を想定しています。
17	参加者および体験提供者へのアンケートについて、県として必須設問（満足度、再訪意向、継続関与意向等）や様式指定があればご教示ください。	現時点で必須設問等はありません。記載いただいている内容を踏まえて作成いただければ問題ありません。 なお、様式の指定はありません。（紙・WEBどちらでも可）
18	ツアー後の検討会（Web可）は、ツアーごとに必須でしょうか。開催回数、参集範囲の最低ライン、議事録等の提出要否をご教示ください。	ツアーごとではなく、2回のモニターツアー終了後に1回を想定しています。 最低ラインは決めていませんが、実施地域において、継続したプログラムになるような検討会を想定しているため、モニターツアーにおいて主体となった中間支援組織や受入事業者等の参加を想定しています。可能な限りで議事録の送付もお願いします。
19	県主催の報告会（オンライン想定）で報告とありますが、開催時期の目安、発表時間、必要資料（スライド枚数等）、発表者の想定をご教示ください。	令和9年2月から3月上旬を想定しています。時間は30分程度、モニターツアー含め受託者に事業実施内容や課題、今後の取組等を報告いただく想定です。
20	再委託について「主たる部分以外は県承諾の上で可」とありますが、一般的に承諾対象となる範囲（撮影編集、デザイン、当日運営補助、旅行会社等）をご教示ください。	当課と協議後の判断となりますが、記載いただいている内容であれば、再委託承諾対象になります。
21	要領に記載されている10項目の審査基準について、各項目の配点ウェイトや、一次審査（書類）と二次審査（プレゼン）で評価の力点に違いがあればご教示ください。	審査基準に基づき同じ点数配分を行っています。一次審査、二次審査とも審査基準をもとに実施し、総合的に判断します。
22	昨年度（令和7年度）以前（同様事業）の実施概要（対象地域、プログラム数、ツアー回数、参加者数、宿泊/日帰りの内訳）を公表可能な範囲でご教示ください。	令和3年～令和6年に実施した同様事業（つながる♥（おもい）農村体験事業）の実施概要を記載します。なお、鹿児島県観光サイト「かごしまの旅」特集ページにも掲載しています。 ツアー回数15回（うち日帰り1回）/総参加者170名（10名前後/回の参加）/作成したプログラム26プログラム
23	参加者属性（居住地、年代、家族構成、参加動機、農村体験経験の有無等）について、集計で公表可能な範囲をご教示ください。	以前の事業と内容を変更しておりますが、県内在住の農村体験に興味のある方に多く参加していただいていた。今年度については都市部の学生等にも参加していただいています。詳細は公表しておりません。
24	昨年度（令和7年度）以前の同事業に県として重視した成果指標（KPI）と、その達成状況（集計値）を公表可能な範囲でご教示ください。	事業の成果については、参加者・受入側に詳細なアンケートを実施し、今後の受入に向けての課題分析を行うこととしています。
25	ツアー後の継続交流（再訪、援農継続、地域行事参加、コミュニティ加入等）につながった件数・割合を把握していれば、集計でご教示ください。	以前の事業と内容を変更しているため、今後検討予定です。
26	昨年度（令和7年度）以前の同事業のアンケートの主要結果（満足度、再参加意向、再訪意向、推奨意向等）と、自由記述で多かった改善点を公表可能な範囲でご教示ください。	以前の事業と内容を変更していますが、満足度、再参加意向は高い傾向です。近年気温が高いことから、夏場のプログラム実施については、検討が必要と考えています。
27	体験提供者（農家等）側アンケートの結果（受入負担、収益性、再受入意向、運営の課題等）を公表可能な範囲でご教示ください。	受入側の反応としては今後の受入に意欲的な回答が多いところですが、農繁期との調整やもてなしの程度、送迎等のコストの課題が挙げられます。
28	昨年度（令和7年度）以前の同事業で、中間支援組織との役割分担・調整で課題となった点（意思決定、募集、当日運営、フォロー等）をご教示ください。	中間支援組織との連携については、現在課題を分析中です。
29	昨年度（令和7年度）以前の同事業の募集チャンネル（SNS、Web、紹介、旅行会社経由等）別の反応や、集客面の課題（応募の質/量、キャンセル等）を公表可能な範囲でご教示ください。	県内に向けての集客については、旅行事業者からの周知の他、県内に向けては県庁LINEも活用しています。募集チャンネル毎の反応については、客層も異なり、プログラムの内容等にもよるため、回答は控えさせていただきます。
30	宿泊を伴う場合、地域宿泊の確保・運用（受入キャパ、価格、衛生・保険、移動導線等）で課題があればご教示ください。	仕様書のとおり、極力地域での宿泊を想定していますが、宿泊施設がない場合は、周辺の施設で可能です。宿泊については通常の管理に基づいての受入をお願いします。

31	昨年度（令和7年度）以前の同事業の振り返りを踏まえ、今年度提案で「最低限改善してほしい点（優先順位付き）」があればご教示ください。	これまでの取組を踏まえた改善点ではありませんが、仕様書にあるとおり、援農体験、地域行事への参加・運営協力、草刈体験などを通じた地域住民との交流により、継続的なつながりが期待されるようなプログラムの構築をお願いします。
32	昨年度（令和7年度）、採択提案が高評価となったポイント（共通点）を、公表可能な範囲でご教示ください。	回答を控えさせていただきます。
33	昨年度（令和7年度）以前の同事業での審査を通じて、不採択提案に多かった不足点（例：地域選定の根拠、プログラムの具体性、体制、広報の弱さ、予算妥当性等）を公表可能な範囲でご教示ください。	回答を控えさせていただきます。
34	審査基準③「実現性・説得力」について、特に確認されるポイント（例：連携先の合意レベル、運営体制、リスク対応、実施スケジュールの妥当性等）があればご教示ください。	地域との連携を密に行い、プログラムを構築していくか。体制、想定される連携先などが具体性があるかを確認します。
35	業務に要する費用について中間支援組織への協力費を含めての費用を想定しているか。	協力費としての費用は想定していませんが、事業実施に係る人件費等の費用は想定しています。
36	中間支援組織の選定について提案資料内に具体的な支援先の明記が必要か。	想定される具体的な中間支援組織があれば明記ください。
37	中間支援組織の選定は1組織でも可能か。	可能です。